資料4

「下水道技術データバンク(仮称)β版」※ の試行を踏まえた改善方針について

※旧「課題チェックシート」

課題チェックシート作成の背景・目的

背景

- ◆ これまでの自治体ヒアリングや下水道技術開発会議でのご意見
 - ✓ 自治体職員の技術情報の認識不足。
 - ✓ 課題を認識したとしても、解決策の探し方が分からない。
 - ✓ 職員数や予算が限られる自治体では、何が課題であるのかを考える余裕が 無いのではないか。



- ◆ 技術ニーズ/シーズの情報共有方法として課題チェックシートを検討してはどうか。 課題チェックシートの目的:
 - ① 現在直面している技術的課題・二一ズを各事業主体が認識すること
 - ② 課題を認識した上で、現在あるサポート内容を把握し、解決のための一歩を 踏み出すこと
 - ③ 既存のサポート内容では解決困難な場合、もしくは解決策が無い場合は、 その課題・ニーズを明確化し、情報発信する → 産官学で解決策検討へ

課題チェックシートに係る令和2年度の取組結果

- ◆ 概要
 - ◆ 課題チェックシート(案)を作成
 - ◆ 4市で試行・ヒアリングし、活用にあたっての課題・要望点、活用方法等を把握
- ◆ 地方公共団体職員へのヒアリング結果

<課題・要望点>

- ◆ PCのセキュリティーの関係で、Excelツールからはリンクが開けない
 - ◆ Webサイトからはリンクを開くことができる。
- ◆ 職員の技術レベルによってはどの技術的課題を選択すればよいかわからないということもあり得ると思われる。
- ◆ より深い技術的課題についても課題認識や解決策の探索ができるとよい。
 - ◆ 処理場は、水処理方式の選択があれば、更に絞り込めると考えます。
 - ◆ 管更生工法が多岐に渡る中、条件を設定し技術を絞り込めるとよい。
 - ◆ 施設区分にマンホールポンプを加えてはどうか。(需要は少ない?)
- ◆ 新技術導入先の自治体の情報や連絡先が分かるとよい。

く活用方法>

- ◆ 新技術を探す際の取っ掛かり、情報を補完するような使い方ができれば有用であると考える。
- ◆ 担当者によってはガイドラインや資料の存在を知らないこともある。このようなツールがあれば、これまでよりも資料が見つけやすいと思う。

課題チェックシートに関する令和2年度第2回会議(R3.1.20)での委員からの主なご意見

- ✓小規模の地方公共団体においては、何が課題であるかを見つけるところから着手する必要がある。
- ✓民間企業でも課題チェックシートが使用又は閲覧が可能であれば、シートの活用方法等の助言が可能となる。
- ✓課題チェックはツリー構造が理想的である。
- ✓作りこみ過ぎると情報の更新が困難になるので、ある程度の段階にとどめておくほうが望ましい。



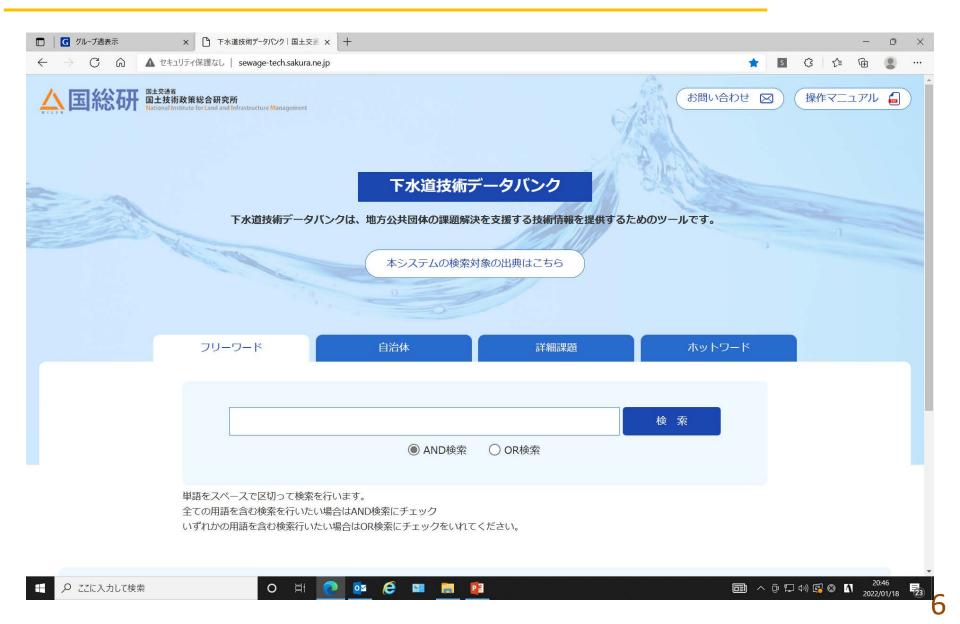
課題チェックシートに係る令和3年度の取組

- ◆ R2ヒアリングを踏まえた課題チェックシートの改良
 - ◆ツールをWeb化
 - ※名称については検討中(時点で「下水道技術データバンク(仮称)」と呼称)
 - ※この他「下水道ファクトチェックシート」「下水道ダッシュボード」等の案あり
- ◆ モデル自治体へのヒアリング実施と改良点(案)の整理
 - ◆3都市を対象に更なる改良方針についてヒアリング
 - ◆ 自治体ヒアリング等を踏まえた令和4年度以降の改良点(案)の整理
- ◆ 広報戦略について検討
 - ◆ 様々な機会を用いて自治体へのPRを実施予定

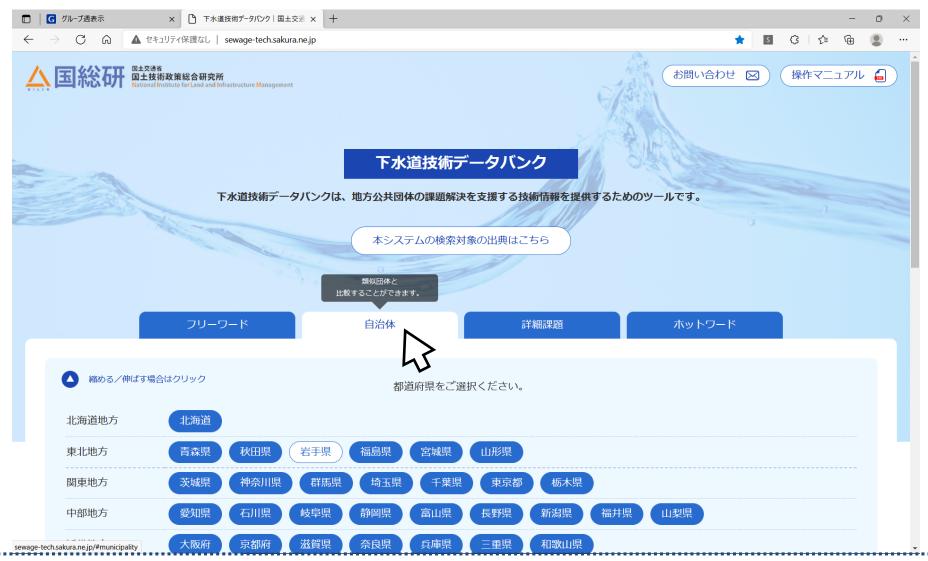


課題チェックシートに係る令和3年度の取組

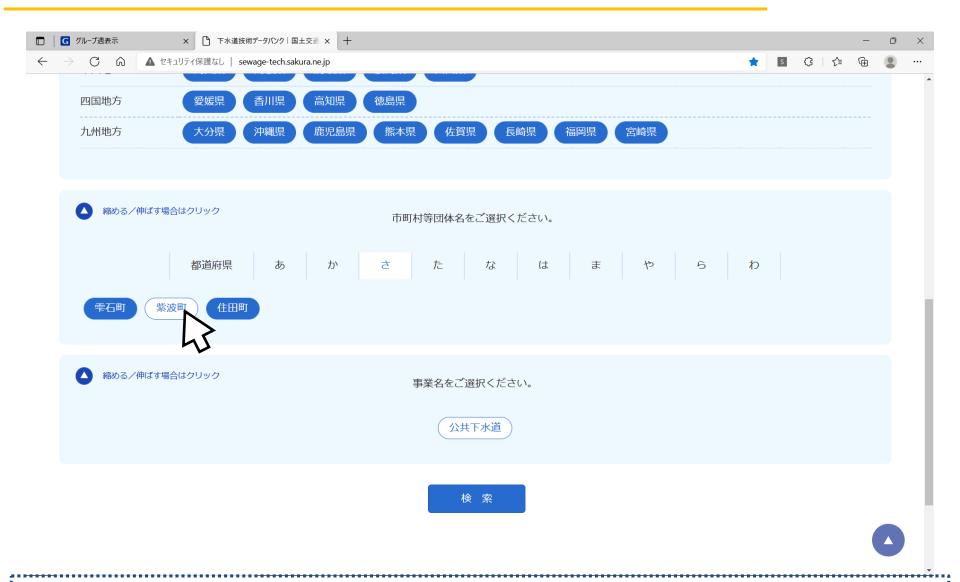
- ◆ R2ヒアリングを踏まえた課題チェックシートの改良
 - ◆ツールをWeb化
 - ※名称については検討中(時点で「下水道技術データバンク(仮称)」と呼称)
 - ※この他「下水道ファクトチェックシート」「下水道ダッシュボード」等の案あり
- ◆モデル自治体へのヒアリング実施と改良点(案)の整理
 - ◆3都市を対象に更なる改良方針についてヒアリング
 - ◆ 自治体ヒアリング等を踏まえた令和4年度以降の改良点(案)の整理
- ◆広報戦略について検討
 - ◆様々な機会を用いて自治体へのPRを実施予定



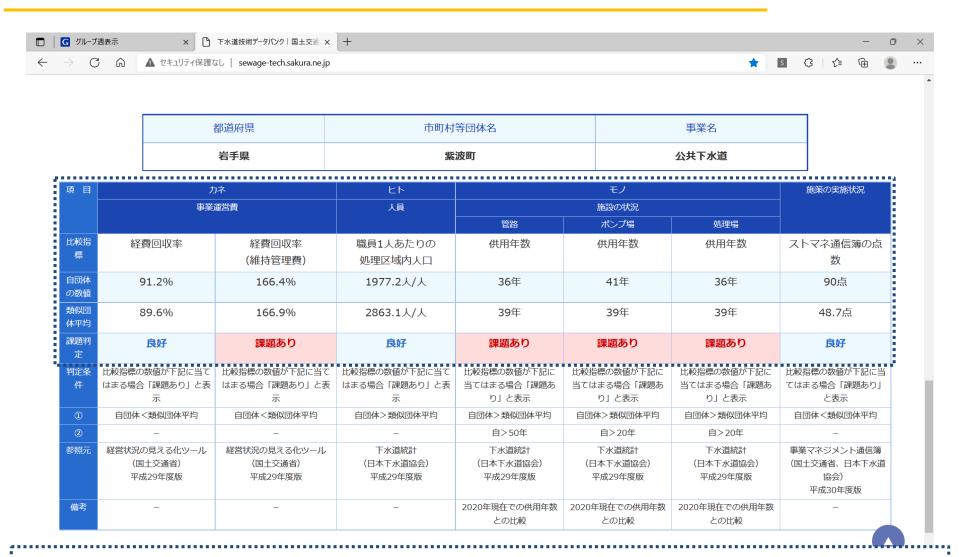












・経営状況・下水道統計・通信簿のデータを、類似団体と比較しながら一覧で表示 ※「良好」「課題あり」の表現は修正予定 ※類似団体との比較結果から、詳細技術へ遷移できるよう変更予定







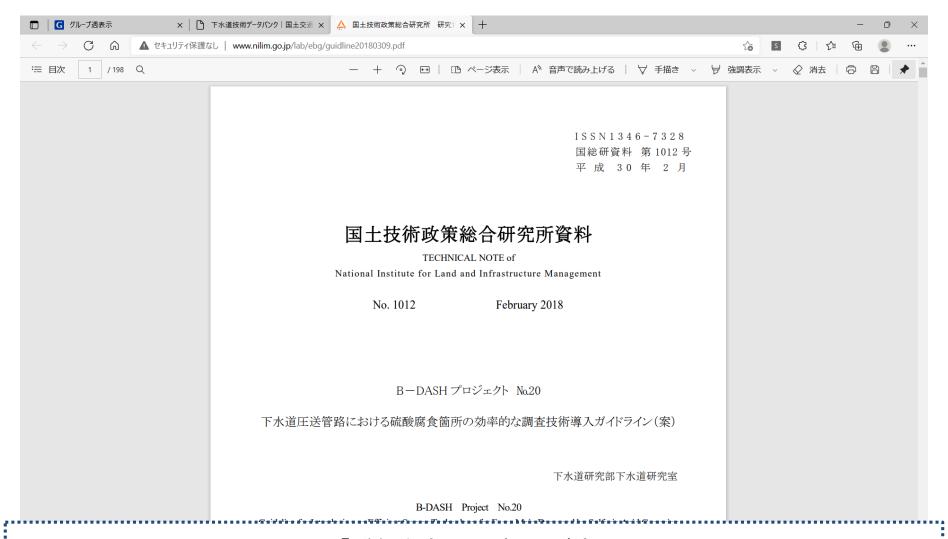








・「詳細を表示」で概要が表示 ・ガイドライン等が定められている場合には直接資料へリンク



・「詳細を表示」で概要が表示 ・ガイドライン等が定められている場合には直接資料へリンク











課題チェックシートに係る令和3年度の取組

- ◆ R2ヒアリングを踏まえた課題チェックシートの改良
 - ◆ツールをWeb化
 - ※名称については検討中(時点で「下水道技術データバンク(仮称)」と呼称)
- ◆ モデル自治体へのヒアリング実施と改良点(案)の整理
 - ◆3都市を対象に更なる改良方針についてヒアリング
 - ◆ 自治体ヒアリング等を踏まえた今後の改良点(案)の整理
- ◆広報戦略について検討
 - ◆ 様々な機会を用いて自治体へのPRを実施予定

自治体へのヒアリング※現在実施中

【ヒアリング対象自治体】

·A市:東北エリア(4万人)、B市:中部エリア(11万人)、C市:四国中国エリア(16万人)

※選定の観点

- ・処理場・ポンプ場・管路を全て管理、過去アンケートから関心が高い自治体を抽出
- ・人口規模が3~15万以上程度、可能な限りエリアは分散させる

【ヒアリング実施期間】 R3.1下旬~

【ヒアリング項目】※抜粋

- ・データバンクについて、日常業務で用いる技術に関する調査ツールとして活用可能か。改善点はあるか。
- ・自治体検索機能について、自治体間の比較データとしてさらに必要なものはあるか。表示結果について普段の業務を通じての乖離はあるか。
- ・ツールとしての使い勝手の面で、改善して欲しい箇所はあるか。実際に業務で活用する場合、 どんな機能や検索が行えるとよいか。

現時点での令和4年度以降の改良点(案)

1. 自治体タブ

1-1. 比較機能の拡充

- 任意に比較対象の団体を選択する機能/類似の課題を持っている他団体と比較できる機能
- ・都道府県の"くくり"で比較する機能

1-2. 基礎データ・判定根拠の明示

- ・比較に用いた基礎データ(数値等の出典)を明示する(更なる分析のため、基礎データを取得できるように)
- ・判定基準・根拠を分かりやすく示す/判定結果を客観的表現とする

2. 詳細課題タブ

2-1. 自治体タブと詳細課題タブの連携

自治体タブから詳細課題タブへリンクさせる

2-2. 技術情報の拡充

- ・先行事例の団体の問合せ先を追加(自団体で導入検討する際に詳細ヒアリングできるように)
- ・技術と制度を関連付ける

3. その他

- ・ツールの活用事例を紹介する
- ・下水道全国データベースの機能(統計・分析機能)と重複する部分があり、一つのサイトから検索できるようにするなど連携が必要



課題チェックシートに係る令和3年度の取組

- ◆ R2ヒアリングを踏まえた課題チェックシートの改良
 - ◆ツールをWeb化
 - ※名称については検討中(時点で「下水道技術データバンク(仮称)」と呼称)
- ◆モデル自治体へのヒアリング実施と改良点(案)の整理
 - ◆3都市を対象に更なる改良方針についてヒアリング
 - ◆ 自治体ヒアリング等を踏まえた令和4年度以降の改良点(案)の整理
- ◆ 広報戦略について検討
 - ◆ 様々な機会を用いて自治体へのPRを実施予定

広報戦略の検討

- ◆ 広報戦略について検討
 - ◆ 様々な機会を用いて自治体へのPRを実施予定

(例)

- ・下水道事業経営セミナー
- ●下水道における新たなPPP-PFI事業の促進に向けた検討会
- •下水道主幹課長会議
- 下水道ホットインフォメーション
- ・国交省HPや下水道全国データベースHPからのリンク等



今後の予定

	令和:	3年度		令和4年度								
12月	1月	2月	3月	4月	5月	6	7	8	9	10	11	12
β版完成・委員の皆様に配布												
	♦	自治体	トヒアリ	レグ								
● R3第2回技術開発会議(改良方針議論)												
		+	ナーバ湾	≛備等		• • [版公		回技術問	昇発会 詞	義	
				改即	良∙運用	状況報	告	助言				
				事務	局にて	改良 ^{>}	※■広報	♂・意見	聴取	等実施	j	

※改良は、技術面・予算面を勘案し実施。